

○三陸北部森林管理署久慈支署の「採材検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成29年7月5日(水)に三陸北部森林管理署久慈支署管内の岩泉町折壁国有林で開催された採材検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

昨年の台風10号の影響による時間帯通行制限のある道路を通行するため、時間を調整しながら現地に向かいました。向かう途中は雨模様で現地の天気が心配でしたが、到着してみると雨は降っておらず、蒸し暑い中での参加者約50名による検討会でした。

現地はカラマツを主体とする生産事業現場であり、今回の検討会はそのカラマツと広葉樹の採材について検討することで進めました。

カラマツ全幹材の3本について、参加者全員で採材検討した後、実際にチェーンソーで玉切りするなど、それぞれの採材の考え方等について意見交換を行いました。

後半になると雨が降り出し、強くなり始めたため、広葉樹の採材検討まではできませんでしたが、青森事務所からは最近の販売状況を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

